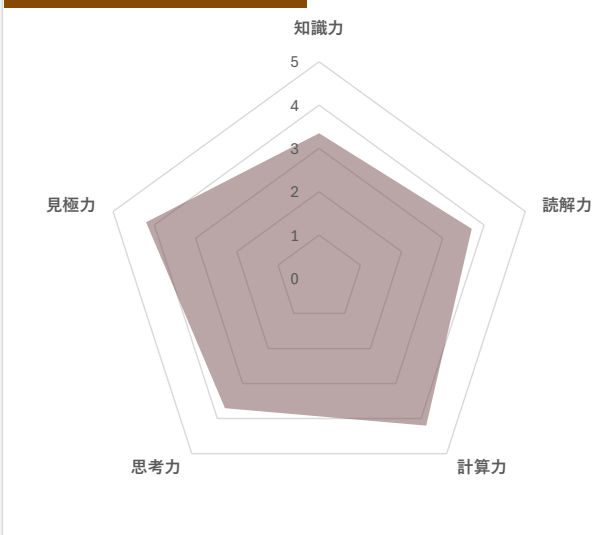


総合分析

試験区分 一般

制限時間 60分(理科2科120分) 大問数 全4問

合格に要する能力 (5段階)



出題分野

理論	64%
無機	14%
有機	22%

本年度出題テーマ一覧

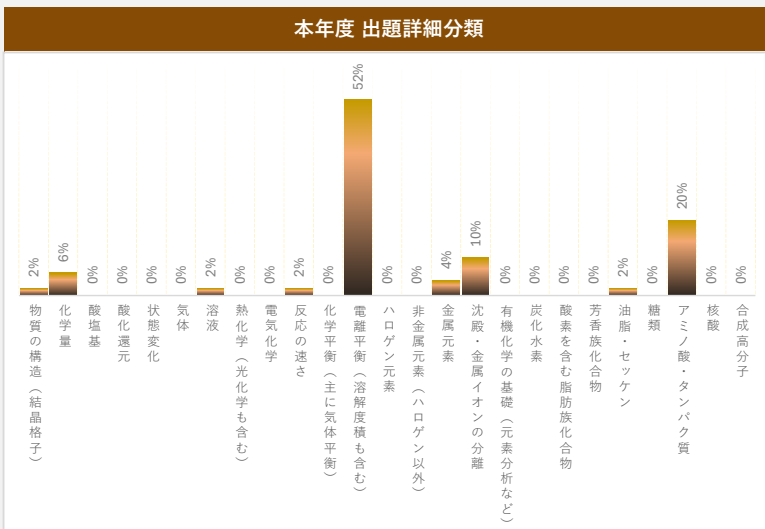
第1問	理論化学小問集合
第2問	ペプチドの配列決定
第3問	多価の酸の中和・電離平衡
第4問	モール法

本年度 解答形式

選択肢	70%
論述	30%

合格に要する能力 (5段階)

知識力	3.2	物質, 反応, 解法の知識
読解力	3.5	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	4.0	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.5	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	4.0	解きやすい問題を選択する力



特殊問題の有無	数値計算あり	グラフあり	正誤問題なし	理由記述あり	図表あり
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項 特になし

総合評価

難度	3.6	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい	一次合格に必要な正答率 (予想)	67%
分量	81分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	多い	標準	

入試の特徴と対策
強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る大学が求める学生像
とにかくスピーディーに問題を解くことが求められる。理論化学では計算問題も多いので、特に計算スピードを上げる必要がある。計算問題では途中を間違えるとそれ以降の小問にも影響してしまう問題もあるので慎重に解く必要がある。記述式は比較的ありふれたトピックが多いので、怯まず解くのが良い。